



2025年9月25日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

News Release

脱・取説キャンセル界限 ～「電子レンジ」や「IH こんろ」等の調理家電の事故を防ぐポイント～

1. 事故の発生状況

NITEに通知された製品事故情報※¹のうち、2020年から2024年までの5年間に発生した調理家電の事故は、北海道内で合計7件ありました。

(1) 被害状況別の事故発生件数

調理家電の事故について、被害状況別の事故発生件数を表1に示します。

表1 被害状況別の事故発生件数

被害状況		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	総計
人的被害	死亡	0	1	0	0	0	1
	重傷	0	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害※ ²	0	2	1	0	1	4
	製品破損	1	1	0	0	0	2
総計		1	4	1	0	1	7

(2) 製品別の事故発生件数

調理家電の事故について、製品別の事故発生件数を表2に示します。

表2 製品別の事故発生件数

製品名	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	総計
電子レンジ	1	3	1	0	0	5
I Hこんろ	0	1	0	0	0	1
フードミキサー（充電式）	0	0	0	0	1	1
総計	1	4	1	0	1	7

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。

(※2) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

2. 事故事例

■電子レンジ

事故発生年月 2021 年 11 月（北海道、50 歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、庫内に付着した汚れにマイクロ波が集中して汚れが加熱され、塗装が劣化したことによって使用のたびに板金の腐食が進行して穴空きが生じ、庫内背面側の穴空き箇所が発生した火花によって周囲の可燃物を焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「庫内（特に電波の出口カバー）に油や食品カスが付着したまま使わない。」旨、記載されている。

■IHこんろ

事故発生年月 2021 年 7 月（北海道、20 歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

宿泊施設で当該製品を使用中、鍋の内容物から出火する火災が発生し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

当該製品を使用して少量の油でかつ鍋底に反りのある鍋を使用して油を加熱して調理後、スイッチを切り忘れたため、安全装置が油温を検知する前に油が発火温度に達し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「揚げ物調理のときは反りが 1mm 以下の鍋を使用する。」「900g 未満の油では調理しない。」旨、記載されている。

3. 調理家電の事故を防ぐために気をつけるポイント

○加熱の仕組みを理解した上で使用する。

○取扱説明書や商品パッケージに記載の注意事項を守る。

▶モード選択やタイマー設定が正しいか確認する。

○こまめに掃除し、熱くなる場所には調理器具以外の物を置かない。

4. 調理家電の事故の再現映像について

調理家電に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 神山、佐藤

電 話: 011-709-2324